

一般社団法人長浜青年会議所 2018年度 事業報告書

総括概要

本年度、第63代理事長 松宮誠也理事長のもと
基本方針 「剛毅果断」

湖北のリーダーとしての自負を強く抱き
本質を妥協せず突き詰め
強固な意志で理想への道を切り拓き続けよう

- 運営方針
- 私たちならできると強く信じ、湖北都市圏創造構想を大きく前進させ、
明るい湖北への道筋を示そう
 - 湖北を担う自負心を強く持ち、誰よりも先駆けて行動しよう
 - 本質をとことんまで突き詰め、強い意志と行動で地域を牽引しよう
 - 会員同士を強い絆で結びつけ、シナジーを生み出す強力な組織力を育もう

重点事業報告

会員旅行

和を感じ輪を創る

～気持ちを一つに円陣全開～

3月31日(土)4月1日(日)に、会員旅行 和を感じ輪を創る～気持ちを一つに円陣全開～を京都市太秦、亀岡市で開催させて頂きました。1日目は、太秦にある「東映太秦映画村」を訪れ、「会員メンバーを探せ！ in 東映太秦映画村」を開催しました。チームに分かれ時代劇衣装に身を包み変装した会員交流委員会メンバーを全員で探しました。また、映画村では、併設されている東映京都撮影所内を特別に見学し、普段では決して見る事の出来ない撮影の裏側を俳優さんにご案内頂きました。メンバーは、日常にない特別感を肌で感じる事が出来ました。夜は、亀岡市湯の花温泉に宿泊し、懇親会を開催しました。そして、懇親会においても、委員会対抗チーム戦の間違探しを実施しました。会員交流委員会メンバーが寸劇を実施して、寸劇内に隠された間違いを全員で探しました。

2日目は、保津川ラフティングを訪れ、ラフティングを体験しました。委員会毎に分かれボート上で「輪」となり、保津川の荒波にもまれながら踏ん張り合い、川を下ったことで、仲間と支え合い一つの方向に向かうことの大切さを体感することが出来ました。また、2日間を通して、メンバー相互の融和をはかることが出来、メンバー同士の深い友情を育むことが出来ました。



魅力溢れる広域的情報発信

～未来を語る 私たちの明るい豊かな湖北～

今年度、広報渉外委員会では青年会議所に対する理解を市民の方々へ促進するために理事長対談やトークショーなど年間を通して長浜青年会議所を広域的情報発信させて頂きました。理事長対談では財務副大臣上野賢一郎様、吉本クリエイティブ・エージェンシー代表取締役会長 泉正隆様と対談を行いホームページに対談を掲載しました。また4月にはエキマチテラスにおいて藤井勇治市長をはじめ影響力のある方々と市民公開型のトークショーを開催しました。

これらの事業を通じて、まちづくりなどそれぞれの活動の第一線で活躍し波及力と行動力を併せ持つ方々と松宮理事長との意見交換が実施出来、私たちの理念や活動内容を力強く伝えられました。また各種情報媒体を通して私たちの魅力を広域的に広報発信することで、多くの市民の方々に私たちの活動をより深く理解して頂く事が出来たと確信しています。

今年度のこの事業や広報渉外委員会の活動の具体的な成果としては、ホームページ閲覧数が9,000を超えたことや引継運用を行ったFacebookでは一投稿でリーチ数が2000ビューを超えることもあり多くの方に情報を発信することが出来ました。



6月公式訪問例会

滋賀ブロック協議会公式訪問懇談会・懇親会

6月8日(金) グランパレー京岩にて公益社団法人日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会役員団の皆様をお招きし長浜青年会議所6月公式訪問例会並びに滋賀ブロック協議会公式訪問懇談会が盛大に開催されました。

冒頭、滋賀ブロック役員団及び長浜青年会議所役員紹介に引き続き、木村尚寛会長の挨拶から始まり、日本青年会議所及び滋賀ブロック役員団の活動について説明を聞ける大変貴重な機会となりました。そして長浜青年会議所松宮理事長から2018年度の長浜青年会議所の基本方針説明があり、湖北都市圏創造構想に基づき各会員が担っている役割を滋賀ブロック役員団の皆様にご説明させて頂きました。

意見交換会では、「委員長会議 IN 長浜 ～魂の答弁～」と題して委員長がどこに重きを置いて活動しているかについて意見を交わして頂きました。事前の自己紹介シートで、これまでの活動、運動の内容を十分に理解した上で質疑応答が繰り広げられたことで、本筋からそれ事無く限られた時間内の活発な議論を円滑に行う事が出来ました。また各委員長が中央の演台で大勢のメンバー前で堂々とした姿勢で熱い議論を交わしそれぞれの委員長の熱き想いをメンバーの方々に感じて頂く有意義な懇談会となりました。

例会後の滋賀ブロック協議会役員団の皆様との懇親会では滋賀ブロック役員団の方々を歓迎し長浜青年会議所の意気込みを表現したオープニングの太鼓から始まり、滋賀という同じ故郷を思う同志と共に膝を突き合わせながら滋賀の明るい未来の実現について大いに語り合いました。



2018年度 近畿地区大会葛城大会 「結いの宴 in 當麻寺」ブース出展

7月14日(土) 奈良県葛城市にて行われました、近畿地区大会葛城大会「結いの宴 in 當麻寺」にてブース出展をしました。本年度は「近畿ブランドが創り出す魅力と活力に溢れる近畿の実現～人と地域を結ぶ「和」の心～」をテーマに開催され、近畿地区内の各地青年会議所がそれぞれの特産品を持ち寄りました。長浜青年会議所からは湖北の魅力発信出来るよう、佐藤酒造株式会社の「湖濱」を出店しました。佐藤酒造株式会社は酒蔵としては非常に若い創業8年目で、酒造りを通して郷土長浜を世界に発信するグローバル企業を目指しており、今回長浜曳山まつりのラベルを瓶に貼り付けて提供をさせて頂きました。この祭りを400年以上脈々と受け継ぎつなぎ続け、ついにはユネスコ無形文化遺産にまで押し上げた町衆の心意気を感じて頂きました。また、曳山祭りのパンフレット、湖北見聞録を一緒にお渡ししたことで、近畿中の皆様に湖北の魅力発信することが出来たと考えます。



第32回人間力大賞経済大臣奨励賞受賞

日本青年会議所 第32回人間力大賞において当青年会議所から推薦し申請した田中美咲氏がファイナリストの20名に残り経済大臣奨励賞を受賞することが出来たことに加え、申請活動を通して様々な学びを得る事が出来た共に、申請活動を通して一般社団法人長浜青年会議所を広域的に広報発信する事が出来たと考えます。

今後も長浜青年会議所が湖北地域において存在感を示していくうえで、引き続き積極的な広報活動を行っていききたいと思います。



湖北都市圏創造構想推進事業 湖北グローバルチャレンジ2018

今年度は、Vision16 教育が地域に浸透しかつ継続的な教育実施が定着するためには新たな教育実施体制と教育テーマが必要であると考え、運動を展開してきました。子ども達に世界を身近に感じてもらうことにより無限の可能性への気づきを与え、自ら考え行動出来るようになる教育の仕組みを創るために、SDGsを教育テーマとして掲げ長浜、米原市内の小学5年生～中学2年生を対象に7月29日(日)、8月11日(土)、8月18日(土)の3日間に渡り、行政の方や2017年度少年少女国連大使、NIED国際理解教育センターの協力のもと、長浜市内の公共施設やJICAなどや地球ひろばにて、湖北都市圏創造構想推進事業湖北グローバルチャレンジ2018を開催させて頂きました。

事業を通して子ども達が自ら学び、考え、行動し、新たな可能性を広げることを根幹に据え、事業1日目では、国際理解教育を主軸にワークショップの手法を用いて、普段の学校教育では学ぶ機会が少ない地域を飛び越えた世界を肌で感じるための学ぶ機会を提供することにより、世界観を養い、より大きな視点から自ら学び、考える大切さを実感して頂きました。

1日目開催から2日目開催までのインターバル期間である2週間の間に、子ども達に対して、考えるだけではなく地域で実際に行動し、その行動を通じて感じた新たな発見や課題について発表するという課題を出し、2日目に臨んで頂きました。事業2日目では、JICAなどや地球ひろばに舞台を変え、子ども達に自ら体験してもらうことを狙いとして、実際に世界で活動している諸先輩方からのお話、体験の場での学び、及び世界の食にふれる機会により、子ども達が世界を知り自らと地域、そして世界が繋がっていることを感じてもらうことが出来ました。そして、事業3日目にはSDGsを題材として子ども達に行政の方々に対して「地域にもあるSDGsの課題解決を私たちから」と題しプレゼンテーションを実施して頂きました。また、事業を通じて各学校長、行政の方々に我々の運動を訴え、テーマの必要性を共感頂き、教育体制の構築に理解を得て歩み寄ることが出来ました。



湖北都市圏創造構想推進事業

LOVE FOR KOHOKU

五感で感じる湖北八景

～新たな発見と出会いの旅～

今年度のまちづくり運動は、湖北八景の魅力を湖北外の人々へと発信し、そこで呼び込んだ方々から湖北八景に対する客観的な評価を得る事で、昨年度精選された湖北八景を地域のシンボルへと昇華させるために克服すべき課題を明確にし、地域の共有財産である湖北八景を地域のシンボルとして確立させることを目的に活動しました。

調査研究において、湖北八景各地に関わる方や観光に携わる方との折衝の中から、それぞれの地域で日本に誇れる知られざる魅力が眠っているにも関わらず、その魅力が全国に知られていない、または1か所だけでは人を呼び込むには観光として成り立たない、そもそも地域の方々がその魅力に気が付いていない、そのような課題が抽出されました。

その結果を踏まえ、湖北八景自体の魅力を、各地の景観・歴史・文化はもちろん、人・食など様々な魅力を様々な視点で繋ぎ合わせる事で、季節・世代・目的を問わず多くの人が訪れたい場所として捉え、湖北八景が8つのアトラクションを有する湖北のテーマパークのような存在であると定義しました。

そしてこの考え方をベースに今までのツールドという手法からツアーという手法に変更し事業を行いました。湖北八景を4か所づつに分け、歴史・文化ツアーと自然・景観ツアーに分け、各地の知られざる魅力を堪能して頂けるプログラムを構築しました。また各ツアー1日目の夜をメインプログラムと位置づけ、歴史・文化ツアーでは竹生島において、その場が舞台となっている能“竹生島”の鑑賞および打ち上げ花火、そして、自然・景観ツアーでは醒井宿にて郷土料理のフルコースと湖北八景オリジナルカクテルをふるまう一夜限りの屋外レストラン“ダイニング八景”を開催しました。どちらのメインプログラムも過去に例を見ない内容で参加者はもとより地元の方々や事業に関わって頂いた方にも大変ご好評を頂きました。今回の事業はまちづくり事業ではめずらしい宿泊型、また有料、しかも数万円単位の参加費を頂戴しての開催となりましたが、ツアー参加者からは各地の魅力に関しては期待を上回る高評価を得る事が出来、事業に関わって頂いた方にも湖北八景各地の魅力を再認識して頂く事が出来ました。

しかしながら、湖北八景を活用し地域の誇りを高めていきたいと自主的に活動して下さる方、その価値を認識している方は決して多いとはいえません。湖北八景が地域の活力を高める共有財産として確立される為には、圧倒的に外部評価が不足しています。湖北八景により多くの人を呼び込む為、引き続き我が先頭に立ち各地の魅力を高めていくと同時に、湖北八景そのものを発信するためのポータルツールを作成し、安定的に地域外の方に湖北八景の存在を知って頂けるチャンネルを増やし、外部から人を呼び込める流通路を確保していく必要があると考えます。湖北八景を活かし続けなければいけないと我々が強く思い率先して行動し、その思いを湖北地域内外に伝播させていく事が湖北八景をシンボルへと昇華させると確信します。



ブロック大会 PR

ブロック大会準備特別委員会では、第49回滋賀ブロック大会を2019年度に長浜の地で10年ぶりに開催するべく、立候補趣意書を作成し滋賀ブロック協議会へ提出しました。湖北の地に根付く進取の気性を前面に押し出し、県内各地会員を刺激し、jayceeとして更に成長して頂ける大会にすることを申し上げ、会員会議所会議にて全会一致で可決頂きました。そして、9月8日に開催された第48回滋賀ブロック大会近江八幡大会にて、次年度開催地PRを行い、長浜JCメンバ総勢60名が登壇し、長浜曳山まつりのヨイサの掛け声のもと、力強く次年度開催へ向けた意気込みを宣言いたしました。



褒賞申請

褒賞委員会として、私たちが行った活動を検証し、運動を広く発信し理解して頂くことを目的とし褒賞申請を行いました。滋賀ブロック協議会とJCI AWARDSへ、コホクビジネスアカデミー2017～少年少女よ大志を抱け！湖北を変えるのは君たちだ！～を申請しました。そして、AWARDS JAPANへ、LOVE FOR KOHOKU 感じよう湖北魂！～湖北八景が創る新世界～を申請しました。申請業務を進める中で、それぞれの運動の内容や進捗状況を見つめ直すことが出来、委員会メンバーにとっても非常に良い機会となりました。さらに、各地の青年会議所の運動と比較する機会も多くあり、長浜青年会議所の運動の良い点、不十分な点なども学ぶことが出来ました。滋賀ブロック協議会では、見事グランプリを獲得することが出来、今後の運動を展開する活力に感じる事ができたと考えます。



2018 年度家族会～秋の味覚祭り

家族との絆を結ぶ栗拾い～

9月17日(月)、会員交流委員会主管の下、高島市マキノ農業公園マキノピックランドにて、2018年度家族会～秋の味覚祭り 家族との絆を結ぶ栗拾い～を開催させて頂きました。収穫の秋を十二分に感じて頂くべく、「家族で拾おう！！栗拾い選手権」では、栗の大きさや重さ、収穫量を競い、楽しみながら栗拾いを体験することが出来ました。昼食は、マキノピックランドのレストランホールをお借りしての、ランチバイキング。午後からは、竹馬作りを委員会メンバー家族同士で協力して行うことが出来ました。メンバーにとっても、日頃のJC活動を一旦忘れて家族と共に過ごす有意義な時間となり、家族との絆をより一層深めて頂く事ができました。



11月例会 公開例会

11/8(木)に「求道者たれ!～黄金に輝く未来を掴み取れ～」のテーマのもと、ボクシング元WBC世界バンタム級チャンピオン山中慎介氏をお招きし、浅井文化ホールにて、長浜青年会議所8年ぶりとなる公開例会を開催致しました。

一般参加者400名を前に、松宮理事長に冒頭、長浜青年会議所の歩みと現在をお話し頂きました。山中氏の講演では拳ひとつで世界チャンピオンにまで上り詰めた過程での体験をもとに、これからの子供たちに伝えたいこと、地域の応援があったからこそ今日の自分がある、などの講演を頂きました。地元滋賀県出身そして我々と同世代である山中氏に等身大の講演を頂くことで、地域を変えていくのはやはり地域に根差した活動を行っている我々長浜青年会議所しかないという自負心が我々に一層強くなると共に、一般参加者の方にも当青年会議所の活動を効果的に発信出来た事業となりました。



経営者研修事業

強みを活かして次の一步を

～さあ才能(じぶん)に目覚めよう～

9/22(土)に「経営者研修事業 強みを活かして次の一步を～さあ才能(じぶん)に目覚めよう～」を神照まちづくりセンターにて開催致しました。地域を牽引するリーダーとして、弱みの克服よりも強みにフォーカスすることが企業活動並びに青年会議所活動のパフォーマンス向上に繋がると考え、会員自身の資質を真の強みに変えることを目的とした研修事業を行いました。

事業では、自己の強みを発見するため事前に「ストレングス・ファインダー」を受検し、事業当日前半は講師にアメリカギャラップ社認定講師の橋本かおり氏をお招きし、個人の資質の説明・活かし方をご講話頂き、強みにフォーカスすることの有益性を学びました。

事業後半では個々の診断結果と講話の内容を受けて委員会ごとのJC活動を通じての強みを共有し合うワークショップを行い、そして登壇して今後の人生にいかん強みを活かしていくかをそれぞれに発表して頂きました。

事業を通じて、自身の資質を見出し、いかにそれを真の強みに変え今後の企業経営及び青年会議所活動に活かしていくかを学んで頂ける事業となりました。



2018 FTセミナー

エキマエイルミネーション

～湖北を変えるのはオレたちだ～

11月10日土曜日に新入会員指導委員会「2018 FTセミナー エキマエイルミネーション～湖北を変えるのはオレたちだ～」を開催致しました。約40名の長浜青年会議所のメンバーにご参加頂き、加えて、長浜市えきまえ活性化室さんとえきまちテラス様にもご参加頂きました。

今年度は長浜青年会議所のOBの方々が提言して設立されたペDESTリアンデッキにイルミネーションを設置しました。1年間を通して積極的に他の委員会事業にも参加した経験を活かし、事前準備や寄付のお願いに各企業を訪問するなど、今後長浜青年会議所活動に必要な経験を積むトレーニングを兼ねて本事業を開催しました。

「変化こそ成長」をテーマに一年間活動してきた新入会員が、委員会内でも率先して発言し、委員会内で一丸となって準備を行ってきました。事業当日では新入会員の彼らが旗振り役となり他の委員会メンバーをリードし、イルミネーションを設置し事業を実施したことが印象的でした。点灯式では無事にイルミネーション点灯が行われました。

事業終了後には「青春の居酒屋」にて新入会員達がそれぞれ、自分たちが湖北を変えていくという熱い気持ちと事業を達成した喜びをメンバーと共有することが出来ました。



新湖北グランドデザイン確立委員会

一年間の活動報告

今年度は、昨年度に形作られたびわ湖の活用を柱とした湖北のグランドデザインの骨子をもとに、長浜と米原が経済的に賑わうまちのあり方を具体的に描き、湖北のグランドデザインとして確立させることを目的に活動しました。まづびわ湖湖岸の現状について調査を行い、湖北に賑わいを生む湖岸の姿について考え、独自に湖岸のあり方を素案として描いてきました。そして素案を元に行政や地元企業と共に経済的な賑わいを生み出すために、湖岸に必要なものは何かを模索してきました。そこで得られた意見やアイデアを取り入れてブラッシュアップさせ、湖北のグランドデザインとして両市の共通のまちづくり方針とするために、両市の行政と折衝を重ねてきました。びわ湖湖岸を活用したまちのあり方については両市の共感を得ることは出来ましたが、まちづくりの方針として取り入れていただけるまでには至りませんでした。それは、グランドデザイン実現による経済的な効果について突き詰められていないこと、両市ともまちづくりのマスタープランを定めており、湖北のグランドデザインを取り入れるのが難しいこと、という理由からでした。両市行政を動かすためには、市民や各エリアの利害関係者を巻き込んで湖北のグランドデザインに対する賛同を得ていき、それらの方たちと共に行政を巻き込んでいくという手順を踏む必要があります。また、長浜青年会議所内部においては委員会訪問によって意見聴取を実施してきましたが、実現による経済効果や実現に向けた課題について明確化することは難しく、コンセンサスを得ることが出来ませんでした。

今後の運動展開として、本年度描いてきた湖北のグランドデザインを長浜青年会議所メンバー及び両市市民が、湖北の未来に希望を抱けるような魅力あるものへとブラッシュアップさせていく必要があります。そのためには、グランドデザイン完成によって生まれる経済効果や、その実現に向けた課題について明確化することにより、グランドデザインに対して多くの市民や利害関係者を巻き込み、賛同を得ていくべきであると考えます。これによって両市が湖北のグランドデザインを共有でき、その実現に向けた官民一体となった実行力のある運動に繋がると確信いたします。